

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		日常生活の指導			
目 標		(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けるようにする。 (思) 生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、考えたことを表現しようとする。 (学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、よりよい生活習慣の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。			
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など		(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。時計や暦の使い方を理解する。食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	78
Ⅰ 学期授業時数					78
2 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など		(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。時計や暦の使い方を理解する。食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	90
2 学期授業時数					90
3 学 期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など		(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。時計や暦の使い方を理解する。食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	42
3 学期授業時数					42
総授業時数					210

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		作業学習 環境美化			
目 標	(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。				
	(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気づき、課題を解決する力を養う。				
	(学) 自分の役割について気づき、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「給食配膳・清掃」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学年 学級	39
	「オリエンテーション」		(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	学年 学級	10
	「清掃をしよう」		(知) 清掃の手順を理解し、丁寧にに取り組むことができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 (学) 清掃への意識を高め、丁寧さや清掃方法などを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	79
	「活動を振り返ろう」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2
Ⅰ学期授業時数					130
2 学 期	「給食配膳・清掃」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学年 学級	45
	「製品作り・販売をしよう」		(知) 製品作りや販売方法の手順を理解し、役割を果たすことができる。 (思) 接客方法について理解を深め、実践することができる。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧さなどを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	103
	「活動を振り返ろう」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2
2学期授業時数					150
3 学 期	「給食配膳・清掃」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学年 学級	21
	「清掃をしよう」		(知) 清掃の手順を理解し、丁寧にに取り組むことができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら協力して取り組むことができる。 (学) 清掃への意識を高め、効率的なやり方や丁寧さなどを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	47
	「活動を振り返ろう」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2
3学期授業時数					70
総授業時数					350

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		作業学習 製菓			
目 標	(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。				
	(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気付き、課題を解決する力を養う。				
	(学) 自分の役割について気付き、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「給食配膳・清掃」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学年 学級	39
	「オリエンテーション」		(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	学年 学級	10
	「製品作り・販売をしよう」		(知) 製品作りの手順を理解し、丁寧にに取り組むことができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧などを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	79
	「活動を振り返ろう」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2
Ⅰ 学期授業時数					130
2 学 期	「給食配膳・清掃」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学年 学級	45
	「製品作り・販売をしよう」		(知) 製品作りや販売方法の手順を理解し、役割を果たすことができる。 (思) 接客方法について理解を深め、実践することができる。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧などを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	103
	「活動を振り返ろう」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2
2 学期授業時数					150
3 学 期	「給食配膳・清掃」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学年 学級	21
	「製品作り・販売をしよう」		(知) 製品作りや販売方法の手順を理解し、役割を果たすことができる。 (思) 接客方法について理解を深め、実践することができる。。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧などを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	47
	「活動を振り返ろう」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2
3 学期授業時数					70
総授業時数					350

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		作業学習 木工				
目 標	(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。					
	(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気付き、課題を解決する力を養う。					
	(学) 自分の役割について気付き、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。					
期	単元名・指導内容		単元目標		授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「給食配膳・清掃」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。		学年 学級	39
	「オリエンテーション」		(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。		学年 学級	10
	「製品作り・販売をしよう」		(知) 製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧さなどを意識して作業する態度を養う。		学年 学級	79
	「活動を振り返ろう」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。		学年 学級	2
Ⅰ学期授業時数						130
2 学 期	「給食配膳・清掃」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。		学年 学級	45
	「製品作り・販売をしよう」		(知) 製品作りや販売方法の手順を理解し、役割を果たすことができる。 (思) 接客方法について理解を深め、実践することができる。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧さなどを意識して作業する態度を養う。		学年 学級	103
	「活動を振り返ろう」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。		学年 学級	2
2学期授業時数						150
3 学 期	「給食配膳・清掃」		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。		学年 学級	21
	「製品作り・販売をしよう」		(知) 製品作りや販売方法の手順を理解し、役割を果たすことができる。 (思) 接客方法について理解を深め、実践することができる。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧さなどを意識して作業する態度を養う。		学年 学級	47
	「活動を振り返ろう」		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。		学年 学級	2
3学期授業時数						70
総授業時数						350

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		作業学習 ハンドクラフト			
目 標	(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。				
	(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気付き、課題を解決する力を養う。				
	(学) 自分の役割について気付き、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「給食配膳・清掃」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学年 学級	39	
	「オリエンテーション」	(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	学年 学級	10	
	「製品作り・販売をしよう」	(知) 製品作りの手順を理解し、丁寧にに取り組むことができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧さなどを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	79	
	「活動を振り返ろう」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2	
Ⅰ学期授業時数					130
2 学 期	「給食配膳・清掃」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学年 学級	45	
	「製品作り・販売をしよう」	(知) 製品作りや販売方法の手順を理解し、役割を果たすことができる。 (思) 接客方法について理解を深め、実践することができる。。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧さなどを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	103	
	「活動を振り返ろう」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2	
2学期授業時数					150
3 学 期	「給食配膳・清掃」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学年 学級	21	
	「製品作り・販売をしよう」	(知) 製品作りや販売方法の手順を理解し、役割を果たすことができる。 (思) 接客方法について理解を深め、実践することができる。 (学) 販売への意識を高め、衛生面や丁寧さなどを意識して作業する態度を養う。	学年 学級	47	
	「活動を振り返ろう」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	学年 学級	2	
3学期授業時数					70
総授業時数					350

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		チャレンジタイム	①道徳「きみがいちばんひかるとき 3年」（光村図書出版）		
目標	(知) 集団や職場での関わり方や、社会的自立に向けて必要な知識や技能を習得できるようにする。 (思) 集団や社会の中で自分ができることを考え、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性やコミュニケーション力を養う。 (学) 自分から進んで集団での活動に入り、主体的に取り組む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	検定の取組 (テーブル拭き、パソコンなど)		(知) 社会的自立について理解し、継続して作業に取り組むことで工程を理解し、基本的な知識や技能を身に付ける。 (思) 作業効率や改善点を考えて、目標設定を自分で設けて、課題解決に取り組む力を養う。 (学) 自分から進んで集団での活動に取り組み、コミュニケーション能力や指示理解力を高める。	グループ	3
	道徳 「個性の伸長」		①	(知) 他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 (思) 自己の良さや可能性を大切に、自立心や自律性、生命を大切にする心を育てる。 (学) 集団の中での人との関わりの中で、伝え合う力を身に付ける。	学級
Ⅰ 学期授業時数					6.5
2 学 期	検定の取組 (テーブル拭き、自在ぼうき、パソコンなど)		(知) 社会的自立について理解し、継続して作業に取り組むことで工程を理解し、基本的な知識や技能を身に付ける。 (思) 作業効率や改善点を考えて、目標設定を自分で設けて、課題解決に取り組む力を養う。 (学) 自分から進んで集団での活動に取り組み、コミュニケーション能力や指示理解力を高める。	グループ	4
	サークル活動		(知) 各サークル活動において、活動のながれやルール・用具の使い方を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。	グループ	4
	道徳 「友情と信頼」	①	(知) 自他の個性や立場を尊重しようとする態度を身に付ける。 (思) 社会生活の中で自分ができることを模索し、他者とともに考えたり、協議したりして、協同する力を高める。 (学) 自分から進んで集団での活動に取り組み、コミュニケーション能力を高める。	学級	3.5
2 学期授業時数					7.5
3 学 期	サークル活動		(知) 各サークル活動において、活動のながれやルール・用具の使い方を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。	グループ	2
	道徳 「勤労の精神」		①	(知) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に関わる基礎的な知識を身に付ける。 (思) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見出し、課題を解決する力を養う。 (学) よりよい家庭生活や職業生活の実現に向けて、生活を工夫し、考えようとする態度を養う。	学級
3 学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		国語科	①国語「国語☆☆☆☆」(東京書籍)		
目標	(知) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。 (思) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (学) 言葉が持つ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を培う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	・自己紹介しよう (みんなに伝えよう)	①	(知)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などを注意して話すことができる。 (思)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫することができる。 (学)言葉のよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切に、その能力の向上させようとする態度を養う。	学級	2
	・声に出して読もう【読書指導】	①	(知)詩や文章を声に出して読むことで、読み手としての心構えや声の調子、相手に伝わる声の大きさなどに気付くことができる。 (思)文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えを持つことができる。 (学)言葉の素晴らしさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	1
	・体育祭の思い出を書こう		(知)相手や目的を意識して文章を書き、事実と感想を区別し、分かりやすい文章を書く技術を身に付ける。 (思)文章を書くことを通して、言葉には考えたことや思ったことを周囲に伝える力があることを認識する。 (学)言葉の素晴らしさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	2
	・言葉のページ	①	(知)修飾語やこそあど言葉について理解を深め、文章の組み立てについての知識を深める。 (思)間違いを修正したり、相手に伝わる正しい文を作る力を作ろうとする意識を持たせる。 (学)言葉のよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切に、その能力の向上させようとする態度を養う。	学級	1.5
Ⅰ 学期授業時数					6.5
2 学 期	・敬語について知ろう		(知)敬語について正しい知識を身に付け、尊敬語と謙譲語が区別できるようにする。 (思)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫することができる。 (学)言葉のすばらしさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を培う。	学級	2
	・俳句、短歌	①	(知)短歌や俳句について知識を深め、それらのすばらしさに気付く。 (思)自分で短歌や俳句をつくることで、古の人の心情に思いをはせる。 (学)言葉のよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切に、その能力の向上させようとする態度を養う。	学級	2
	・行事の思い出を書こう	①	(知)相手や目的を意識して文章を書き、事実と感想を区別し、分かりやすい文章を書く技術を身につける。 (思)文章を書くことを通して、言葉には考えたことや思ったことを周囲に伝える力があることを認識する。 (学)言葉の素晴らしさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	1.5
	・年賀状を書こう。		(知)文字の組み立て方を理解し、文型を整えて書くことができる。 (思)用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。 (学)言葉そのものがもつ素晴らしさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその態度を培う。	学級	2
2 学期授業時数					7.5
3 学 期	・ことわざ		(知)生活に身近なことわざや慣用句について理解し、それを適切な場面で使うことができる。 (思)文章を読んで理解したことについて、感想や考えを持つことができる。 (学)言葉の素晴らしさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	2
	・職場体験(校内実習)の感想文を書こう	①	(知)漢字と仮名を用いた表記や、送り仮名の付け方を理解して、文章の中でそれを適切に使うことができる。 (思)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた題材を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 (学)言葉の素晴らしさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力を向上させようとする態度を培う。	学級	1.5
3 学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 Ⅰ年生 単一Ⅱ類型		社会科	①社会「ひとりだちするための社会」（日本教育研究出版） ②地図「いちばんわかりやすい小学生のための学習日本地図帳」（成美堂出版）		
目標	(知) 地域の様子や社会参加するための決まり、公共施設の役割と制度について理解することができる。 (思) 社会的事象の特色や相互の関連を自分の生活と結び付け、社会との関わり方を選択したり、判断したりすることができる。 (学) 社会に主体的に関わろうとしたり、学習したことを社会生活に生かそうとしたりする態度を身に付ける。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「広島市の地理と歴史について」 ・ 八つの区と地図 ・ 広島市の歴史	①②	(知) 広島市の地図の読み取りを行い、八つの区、流れている川、主な土地などについて知ることができる。 (思) 広島市の地形を地図で探したり、各種資料を調べたりしながら広島市の地理や歴史について表現することができる。 (学) 広島市に住んでいるものとしての自覚や、人々と協力して生活しようとする気持ちを養う。	学級	3.5
	「広島県の地理と産業について」 ・ 広島県の特徴 ・ 地方の特産品	①②	(知) 広島県全体の地図の読み取りを行い、主な市町について知ることができる。 (思) 広島県各地の主な市町の地域としての特色を調べ、調べた内容や考えてまとめたことを表現することができる。 (学) 広島県の土地や自然を大切にしようとする気持ちや態度を養う。		3
Ⅰ 学期授業時数					6.5
2 学 期	「私たちの国土」 ・ 都道府県の特徴 ・ 地方の特徴	①②	(知) 日本の国土の概要や特色について理解することができる。 (思) 日本の国土の様子や特色を調べ、調べたり考えたりしたことを表現することができる。 (学) 日本の国土や自然を大切にしようとする気持ちや態度を養う。	学級	4.5
	「防災について」 ・ ハザードマップ ・ 防災グッズ	①	(知) 自然災害から生活を守るために、様々な対策や事業が進められていることを理解することができる。 (思) 自分の居住地域のハザードマップを調べたり、避難場所を確認したりして、マイタイムラインを作成することができる。 (学) ハザードマップや避難場所を調べたり、防災グッズを考えたりすることで、防災の意識を高めようとする気持ちや態度を養う。		3
2 学期授業時数					7.5
3 学 期	「政治の仕組」 ・ 日本国憲法 ・ 年金制度 ・ 国際連合 ・ 国際協力	①	(知) 現代社会および国際政治の基本的な仕組みや働きについて理解することができる。 (思) 日本国憲法の制度や国際連合の成り立ちについて調べ、関係機関との相互の連携や協力などを諸資料を見ながら、考え表現することができる。 (学) 政治と自分たちの生活のつながりに関心をもち、社会参加への気持ちを養う。	学級	2.5
	「選挙について」【主権者教育】 ・ 18歳選挙権について	①	(知) 18歳で成人となり、選挙権が与えられることについて理解することができる。 (思) 成人となることについて自分の考えを表現したり、相手の考えを聞いて比較したりすることができる。 (学) 地域社会の一員であるという気持ちや責任ある行動をしようとする態度を養う。		1
3 学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		数学科	①数学「改訂新版 くらしに役立つ数学」（東洋館）		
目標	（知）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けることができる。 （思）日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 （学）数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「数と計算の学習をしよう」 ・基本的な四則計算	①	（知）整数の概念や性質について理解を深め、加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらの計算ができる。また、数量とその関係を表したり読み取ったりすることができる。 （思）数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、日常生活の場面を数量に着目して捉えたりすることができる。 （学）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	2.5
	「長さとかさの学習をしよう」 ・長さの単位と測定 ・重さとかさの単位と測定	①	（知）長さとかさの概念や性質について理解を深め、数量とその関係を表したり、読み取ったりすることができる。 （思）数を構成する単位に着目して、数の表し方について考えたり、日常生活の場面を数量に着目して捉えたりすることができる。 （学）時刻や暦の学習を通じて、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		2
	「図形の学習をしよう」 ・三角形と四角形 ・多角形と円	①	（知）基本的な図形について理解を深め、図形を作図したり、面積や角の大きさを求めたりすることができる。 （思）図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察することができる。 （学）図形や数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		2
Ⅰ学期授業時数					6.5
2学期	「数と計算の学習をしよう2」 ・金銭の計算 ・小数と分数	①	（知）金銭の概念や性質について理解を深め計算することができる。また、小数及び分数の意味や表し方について知り、数量とその関係を表したり読み取ったりすることができる。 （思）数を構成する単位に着目して、数の表し方について考えたり、日常生活の場面を数量に着目して捉えたりすることができる。 （学）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	5
	「時刻と暦の学習をしよう」 ・時刻 ・暦	①	（知）時刻と暦の概念や性質について理解を深め、事象を数理的に処理することができる。 （思）時刻や暦の読み方を日常生活に生かして、生活と結び付けて捉えることができる。 （学）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		2.5
2学期授業時数					7.5
3学期	「変化の関係を学習しよう」 ・伴って変わる二つの数量	①	（知）二つの数量の関係や変化の様子を表や式で表すことについて理解するとともに、二つの数量の関係を割合によって比べることができる。 （思）伴って変わる二つの数量の關係に着目し、変化の特徴に気付き、二つの数量の関係を表や式を用いて考察したり、割合を用いて考察したりすることができる。 （学）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級	1.5
	「データを活用しよう」 ・表やグラフ	①	（知）データを表や棒グラフ、折れ線グラフで表す表し方や読み取り方の理解を深め、数量とその関係を表したり読み取ったりすることができる。 （思）身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、簡潔に表現したり、適切に判断したりすることができる。 （学）データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		2
3学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		理科	①理科「ひとりだちするための理科」（日本教育研究出版）		
目標	(知) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。 (思) 観察、実験などを行い、疑問や解決の方法を考える。 (学) 自然を愛する心を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「生物について①」 ・春の植物の特徴、生長 ・春の植物の観察	①	(知) 植物のつくりや養分を作る働き、植物内の水の行方などを知ることができる。 (思) 植物の観察を通して、成長をまとめ、成長するために必要なことを考えたり、表現したりすることができる。 (学) 植物を大切に扱ったり、生命を尊重したりしようとする気持ちや態度を養う。	学級	2
	「天候について①」 ・春の天候の特徴、観察	①	(知) 天気の変化について雲の動きや、天気の映像などを見ながら季節の天気について知ることができる。 (思) 天気の変化を雲の量や動きとの関係があることや映像などの気象情報を用いて予想する。 (学) 天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方や雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え表現する。		2
	「生物について②」 ・夏の植物の特徴、生長	①	(知) 植物のつくりや養分を作る働き、植物内の水の行方などを知ることができる。 (思) 植物の観察を通して、成長をまとめ、成長するために必要なことを考えたり、表現したりすることができる。 (学) 植物を大切に扱ったり、生命を尊重したりしようとする気持ちや態度を養う。		1
	「天候について②」 ・夏の天候の特徴、観察	①	(知) 天気の変化について雲の動きや、天気の映像などを見ながら季節の天気について知ることができる。 (思) 天気の変化を雲の量や動きとの関係があることや映像などの気象情報を用いて予想する。 (学) 天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方や雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え表現する。		1.5
Ⅰ 学期授業時数					6.5
2 学 期	「生物について③」 ・秋の植物の特徴、生長 ・秋の植物の観察	①	(知) 植物のつくりや養分を作る働き、植物内の水の行方などを知ることができる。 (思) 植物の観察を通して、成長をまとめ、成長するために必要なことを考えたり、表現したりすることができる。 (学) 植物を大切に扱ったり、生命を尊重したりしようとする気持ちや態度を養う。	学級	2
	「天候について③」 ・秋の天候の特徴、観察	①	(知) 天気の変化について雲の動きや、天気の映像などを見ながら季節の天気について知ることができる。 (思) 天気の変化を雲の量や動きとの関係があることや映像などの気象情報を用いて予想する。 (学) 天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方や雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え表現する。		2
	「自然災害について」 ・地震と津波 ・台風 ・雨、雪、雷	①	(知) 地震や噴火によって土地が変化する様子や、自然災害が起こる様子について知ることができる。 (思) 映像や図書などの資料から、地震や噴火の様子や、それがもたらした災害の様子について調べたり、表現したりすることができる。 (学) 生活の中で自然災害が起きることを予想し、防災や対策について意識したり、行動したりしようとする態度を養う。		3.5
2 学期授業時数					7.5
3 学 期	「天候について④」 ・冬の天候の特徴、観察	①	(知) 天気の変化について雲の動きや、天気の映像などを見ながら季節の天気について知ることができる。 (思) 天気の変化を雲の量や動きとの関係があることや映像などの気象情報を用いて予想する。 (学) 天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方や雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え表現する。	学級	1
	「気象について」 ・天気図の見方 ・天気予報の読み取り方	①	(知) 天気の変化は、雲の量や動きと関連があることを知り、天気の予想の仕方について知ることができる。 (思) 映像などの気象情報を用いて、天気の予想をすることができる。 (学) 天気予報に関心をもち、毎日の生活に生かそうとする態度を養う。		2.5
3 学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		音楽科	①音楽「音楽☆☆☆☆☆」（文部科学省）		
目標	(知) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解し、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、身体表現の技能を身に付ける。 (思) 音楽表現を創意工夫することや曲や演奏のよさを見いだしながら、音楽を味わって聴くことができる。 (学) 音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽文化に親しみ、生活を明るく豊かなものにしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	歌唱「校歌を歌おう」	①	(知) 歌唱の活動を通して、曲名や曲想と音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 器楽の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、多様な楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付く、演奏の仕方との関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付けることができる。 (知) 音楽づくりの活動を通して、いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴やリズム・パターンや短い旋律のつなぎ方の特徴に気付く、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付けることができる。 (知) 身体表現の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、曲名や歌詞と体の動きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 鑑賞の活動を通して、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたり、曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて理解したりすることができる。	学年 学級	2
	歌唱「季節を感じて歌おう」		①		2
	歌唱「学年の歌を歌おう」	①	3		
	器楽「楽器演奏を楽しもう」	①	4		
	鑑賞「名曲を聴こう」	①	2		
Ⅰ学期授業時数					13
2 学 期	歌唱「季節を感じて歌おう」	①	(思) 歌唱の活動を通して、歌唱表現についての知識や技能を得たり、生かしたりしながら曲の特徴にふさわしい表現を工夫することができる。 (思) 器楽の活動を通して、器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら曲想にふさわしい表現を工夫することができる。 (思) 音楽づくりの活動を通して、音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音を音楽へと構成することについて創意工夫することができる。 (思) 身体表現の活動を通して、身体表現についての知識や技能を得たり、生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、身体表現を工夫することができる。 (思) 鑑賞の活動を通して、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことができる。 (学) 主体的に楽しく音や音楽に関わり、音楽活動の楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽体験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	学年 学級	2
	「二部合唱にチャレンジしよう」	①			5
	器楽「楽器演奏をしよう」	①			6
	鑑賞「日本の伝統音楽に親しもう」	①			2
2学期授業時数					15
3 学 期	歌唱「心をこめて歌おう」	①		学年 学級	6
	「まとめをしよう」	①			1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		美術科	①美術「小学館の図鑑NEOアート 図解 はじめての絵画」(小学館)		
目標	(知) 造形的な視点について理解し、意図に応じて自分の表現方法を見だし、創造的に表すことができる。 (思) 豊かに発想して構想を練ったり、文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。 (学) 主体的に活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造していく態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「いろいろな技法(モダンテクニックを含めて)」 ○基本的な画材の使い方や技法の習得 ・絵具や筆など基本的な画材の使い方の理解 ○モダンテクニックを用いた表現 ・ドリップングやパチックなどのモダンテクニックの理解 ・筆やスタンプなどの道具を用いた表現 ・モダンテクニックを用いた表現 ・作品の鑑賞・展示	①	(知) いろいろな技法で使用する道具の扱い方を理解して操作し、作品を上げることができる。 (思) いろいろな技法を使い、自分で工夫しながら表現することができる。 (学) いろいろな技法を理解し、制作する活動を通して、創造活動の喜びと達成感を味わう態度を養う。	学級	7
	「学校を描こう～学校や教室にあるものを描く～」 ○基本的な画材を用いた絵画の制作 ・描く対象を決め鉛筆で描写 ・校舎や教室などの建物や空間の描写 ・校内にある植物や教室にあるものなどの描写 ・水彩絵の具や色鉛筆などを用いて着色 ・作品の鑑賞・展示	①	(知) 道具の扱い方や特徴を理解し、対象を捉えて線描などで表現し彩色することができる。 (思) 身近にある建物や物の全体や一部をモチーフとしてよく観察して描き、表現することができる。 (学) 基本的な描画技法を理解し、制作活動を通して創造する喜びを味わう。		6
Ⅰ 学期授業時数					13
2 学 期	「絵画の制作」 ○モダンテクニックを用いた絵画の制作 ・デザインやテーマの検討 ・ドリップングやパチックなどのモダンテクニックを用いた表現 ・様々な道具や材料を用いた制作活動 ・作品の鑑賞・展示	①	(知) いろいろな技法で使用する道具の扱い方を理解して操作し、作品を上げることができる。 (思) 構図を考えて、技法や道具を選び、自分で工夫しながら表現することができる。 (学) いろいろな技法を理解し、制作する活動を通して、創造活動の喜びと達成感を味わう態度を養う。	学級	6
	「立体物の制作」～貯金箱づくりやお面作り～ ○紙粘土を用いた立体作品の制作 ・デザインやテーマの検討 ・紙粘土を用いた立体作品の制作活動 ・作品の鑑賞・展示	①	(知) 粘土の性質を理解し、用途に合わせて選択した道具を扱って、粘土を形成することができる。 (思) 完成をイメージしながらデザイン画を描き、表現することができる。 (学) 貯金箱作りやお面作りに自発的に取り組み、創造する喜びや達成感を感じる態度を養う。		9
2 学期授業時数					15
3 学 期	「墨で描く」～色紙に描く、巻物に描く～ ○墨や筆を用いた表現 ・デザインやテーマの検討 ・墨や筆を用いての表現の理解、体験 ・墨や筆を用いた表現 ・作品の鑑賞・展示	①	(知) 墨と筆の性質や扱い方を理解し、和紙に絵を描くことができる。 (思) 絵の構成を考え、墨の濃淡や、線の太さ、鮮やかさなどを生かして表現することができる。 (学) 独特の味わいや美しさを感じ取り、工夫をしながら描き、創造活動の喜びと達成感を感じる態度を養う。	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年		保健体育科	①保健体育「ドキドキワクワク性教育(2)大切なからだ・こころ」 (少年写真新聞社)		
単一Ⅱ類型					
目標	(知) 運動の楽しさや喜びを深く味わい、生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深め、目的に応じた技能を身に付ける。				
	(思) 運動や健康・安全について自分の課題を理解し、その解決に向けて仲間と考え判断したり、伝えたりする力を身に付ける。				
	(学) 生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「体づくり運動」(体力づくり) ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋力トレーニングなど		(知) 体ほぐしの運動体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わいその行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。 (思) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし自主的に運動しようとする態度を養う。	類型 学級	26
	「体育祭の取組」(サーキット) ・学年種目練習 ・入退場練習 ・全体練習		(知) 集団行動でのルールやきまり、演技内容などを理解し、基本的な動作の正しい動き方を身に付ける。 (思) 種目練習で、道具の操作を自分で工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 仲間と協力して種目などの練習に取り組もうとする気持ちや態度を養う。	学年 類型 学級	8
	「ニュースポーツ」 ・フライングディスク ・ポッチャなど		(知) 場所や道具の安全に気を付けて種目に取り組むことができる。 (思) ニュースポーツについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) ニュースポーツの多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動する気持ちや態度を養う。	類型	3
	「水泳」 ・泳力測定 ・アクアビクス ・クロールなど		(知) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとする態度を養う。	類型	2
Ⅰ学期授業時数					39
Ⅱ 学 期	「体づくり運動」(体力づくり) ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋力トレーニングなど		Ⅰ学期と同目標	類型 学級	30
	「新体力テスト」 ・握力・上体起こし・長座体前屈・50m走・20mシャトルラン・反復横跳び・立ち幅跳び・ハンドボール投げ		(知) 自己の体力について知ることができる。 (思) 体力テストを通して、自己の運動の課題を見付けることができる。 (学) 体力テストに主体的に取り組む気持ちや態度を養う。	類型	4
	「水泳」 ・泳力測定 ・アクアビクス ・クロールなど		Ⅰ学期と同目標	類型	4
	「球技」 ・ゴール型(バスケットボール、ポートボール、サッカーなど) ・ネット型(ソフトバレーボール、バレーボール、卓球、バドミントンなど)		(知) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えたりすることができる。 (学) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとする態度を養う。	類型	5
	「保健」(性の学習) ・男女の体の違い ・体の違いと各器官の働き	①	(知) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 (思) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。	類型 学級	2
Ⅱ学期授業時数					45
Ⅲ 学 期	「体づくり運動」(体力づくり) ・体操 ・ストレッチ ・ランニング ・筋力トレーニングなど		Ⅰ学期と同目標	類型 学級	14
	「陸上競技」 ・短距離、リレー ・長距離など		(知) 記録を更新する楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解することができる。 (思) 陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動する気持ちや態度を養う。	類型	4
	「集団演技」(体育祭の取組) ・学年種目練習		(知) 集団演技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。 (思) 集団演技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 集団演技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとする態度を養う。	類型	3
Ⅲ学期授業時数					21
総授業時数					105

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		職業科	①職業科「ひとりだちするための進路学習 あしたへのステップ改訂版」 (日本教育研究出版社)		
目標	(知)働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。				
	(思)将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え・実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。				
	(学)より良い将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「オリエンテーション」 ・Ⅰ年間の学習の予定		(知)職業のⅠ年間の学習予定について知り、活動に見通しをもつ。 (思)将来の生活について、考えようとする態度を養う。 (学)よりよい将来の生活の実現に向けて、取り組もうとする態度を養う。	学級	1
	「自分を知らう」 ・パーソナルデータについて ・自分の好きなこと、得意なこと、課題について	①	(知)自分に関する情報や、良い所や得意なこと、苦手なことなどを知ることができる。 (思)自分について知り、将来の生活に向けて取り組む課題を考えることができる。 (学)よりよい生活の実現に向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。	学級	2
	「将来の生活について知ろう(Ⅰ)」 ・卒業後の生活の場について(事業所、企業) ・身近な仕事と役割について ・職場見学【校外学習①】 ・職場見学の振り返り	①	(知)卒業後の生活の場に関する特徴や内容に関心をもつことができる。 (思)職場見学を通して、将来の生活についてイメージし、自己の取組課題について考えることができる。 (学)将来の生活に必要な思考力、判断力、表現力を付けようとする態度を養う。	学級 グループ	6
	「ビジネスマナー(Ⅰ)」 ・働く意味について ・健康管理について ・挨拶と返事	①	(知)社会人として適切な健康管理や挨拶などについて知ることができる。 (思)社会人として適切な健康管理や挨拶などについて、他者と協働しながら考えることができる。 (学)場面に応じたロールプレイングを行うことで実践的な力を養う。	学級	4
Ⅰ学期授業時数					13
2 学 期	「将来の生活について知ろう(Ⅱ)」 ・卒業後の生活の場について(事業所や企業) ・職種と仕事内容について ・職場見学【校外学習②】 ・職場見学の振り返り	①	(知)卒業後の生活の場に関する特徴や内容に対する関心を高めることができる。 (思)職場見学を通して、将来の生活についてイメージし、自己の取組課題について考えることができる。 (学)将来の生活に必要な思考力、判断力、表現力を付けようとする態度を養う。	進路希望別 グループ	7
	「ビジネスマナー(Ⅱ)」 ・清潔と身だしなみ ・言葉づかいと態度 ・ルールとマナー ・面接指導	①	(知)社会人として適切な身だしなみや言葉づかい、態度などについて知ることができる。 (思)社会人として適切な身だしなみや言葉づかい、態度などを他者と協働しながら考えることができる。 (学)社会生活の場面に応じたロールプレイングを行うことで実践的な態度を養う。	学級 グループ	5
	「職場体験実習事前学習(企業・A型)(Ⅰ)」 ・実習への心構え、目標設定 ・態度と身だしなみ	①	(知)実習での基本的な態度や服装、作業内容を理解することができる。 (思)体験実習に向けて目標を考え、意欲や見通しをもって取り組もうとする態度を養う。 (学)実習に対する意欲や関心を高めて、主体的に取り組む態度を養う。	進路希望別 グループ	3
2学期授業時数					15
3 学 期	「職場体験実習事前学習(企業・A型)(Ⅱ)」 ・実習に向けた準備 ・帰宅連絡の仕方	①	(知)実習での基本的な態度や服装、作業内容を理解することができる。 (思)実習に向けて目標を考え、意欲や見通しをもって取り組もうとする態度を養う。 (学)勤労に対する意欲や関心を高めて、主体的に取り組む態度を養う。	進路希望別 グループ	2
	「職場体験実習事後学習(企業・A型)」 ・実習における目標達成割合の自己評価 ・実習報告会	①	(知)実習における目標の達成割合の自己評価の方法を知ることができる。 (思)実習の報告を通して、働くために必要な力について、他者と交流しながら考えることができる。 (学)将来の職業生活に向けて、自己の課題について取り組もうとする態度を養う。	進路希望別 グループ	2
	「先輩から学ぶ」 ・2年生の先輩からの取組報告		(知)先輩の職場体験実習の取組の成果を知ることができる。 (思)先輩の報告を受けて自分を振り返り、進路決定に向けて考える力を養う。 (学)先輩の報告を受けて自分を振り返り、進路決定に向けて、意欲をもって取り組もうとする態度を養う。	進路希望別 グループ	1
	「Ⅰ年間のまとめ」 ・卒業後の進路について ・JSTとの面接に向けた取組(企業・A型希望者)	①	(知)卒業後の生活の場に関して特徴などを大まかに理解できる。 (思)自分の将来の生活について大まかにイメージし、考えることができる。 (学)将来の生活に必要な課題に取り組もうとする態度を養う。	学級 グループ	2
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		家庭科	①家庭「職業・家庭たのしい家庭科 わたしのくらしに生かす」 (開隆堂出版)		
目 標	(知) 衣食住について理解すると共に関連する技術を身に付ける。				
	(思) 衣食住に関わる課題や、自分の日常生活を振り返ることを通して、気付いたり、考えたりすることができる。				
	(学) 家庭生活を営む上に必要な基礎的な能力を身に付け、実践的な態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「衣服をきれいにしよう」 ・身だしなみについて ・アイロンの使い方	①	(知) アイロンの働きや衣服の素材に応じたアイロンの温度について理解することができる。 (思) 場面や状況に応じた服装について考えることができる。 (学) 学んだことを生かし、生活に取り入れる態度を養う。	学級	2
	「布の小物を作ろう(Ⅰ)」 ・ボタン付け、手縫い ・季節を感じる小物作り	①	(知) ボタン付けや、手縫いの仕方を身に付けることができる。 (思) 小物のデザインを考えたり、表現したりすることができる。 (学) 製作工程を理解し、主体的に取り組もうとする気持ちを養う。	学級	5
	「バランスの良い食事をしよう(Ⅰ)」 ・簡単な調理	①	(知) 調理器具の名前、使用方法を理解することができる。 (思) 食事について楽しんで考えることができる。 (学) 電子レンジを使うなど、簡単な調理方法を学び、日常生活においても、取り入れる態度を養う。	学級	4
	「住まいや暮らし方を考えよう(Ⅰ)」 ・夏の暮らし方 ・掃除	①	(知) 夏を快適に過ごすための工夫について知ることができる。 (思) 気持ちの良い住空間について考えることができる。 (学) 学んだことを日常生活においても、実践しようとする態度を養う。	学級	2
Ⅰ学期授業時数					13
2 学 期	「上手な買い物をしよう」 ・物の値段 ・通信販売	①	(知) 買い物をするために必要なことや注意点について知ることができる。 (思) お金の使い方について自分自身を振り返り、考えることができる。 (学) 学んだことを日常生活においても、実践しようとする態度を養う。	学級	2
	「バランスの良い食事をしよう(Ⅱ)」 ・食育 ・調理	①	(知) 食品の種類とその特徴、栄養と栄養素について理解することができる。 (思) 栄養バランスの取れた食事について考えることができる。 (学) 栄養バランスについて考え、生活の中に取り入れようとする態度を養う。	学級	6
	「布の小物を作ろう(Ⅱ)」 ・ミシンの使い方 ・カバンの製作	①	(知) ミシンの使い方を理解し、安全に使用することができる。 (思) カバンのデザインを考え、より良く仕上げるための工夫をすることができる。 (学) 製作工程を理解し、主体的に取り組もうとする気持ちを養う。	学級	5
	「住まいや暮らし方を考えよう(Ⅱ)」 ・大掃除	①	(知) 掃除道具の使い方やコツについて知ることができる。 (思) 掃除をする場所の汚れについて気付いたり、考えたりすることができる。 (学) 年末を意識し、住空間を快適に整えようとする態度を養う。	学級	2
2学期授業時数					15
3 学 期	「小さな子どもと遊ぼう」 ・自分の成長の振り返り ・交流	①	(知) 子どもの発達過程や成長について理解することができる。 (思) 子どもとの適切な関わり方について、考えたり工夫をしたりすることができる。 (学) 子どもとの適切な関わり方を考えたり、自ら関わろうとする気持ちや態度を養う。	学級	6
	「住まいや暮らし方を考えよう(Ⅲ)」 ・大掃除	①	(知) 掃除道具の使い方やコツについて知ることができる。 (思) 掃除をする場所の汚れについて気付いたり、考えたりすることができる。 (学) 年度末を意識し、住空間を快適に整えようとする態度を養う。	学級	1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		外国語科	①外国語「CDつき小学生の英語レッスン 絵で見て学ぼう英会話」 (成美堂出版)		
目標	(知) 外国語に親しみ、実際のコミュニケーション場面で活用できる基礎的な技能を身に付ける。 (思) 基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えたり相手のことを聞いたりし、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 (学) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「英語で話そう(Ⅰ)」 ・自己紹介	①	(知) 自己紹介で用いる簡単な表現やローマ字について知ることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを用いて、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 身の回りのローマ字表記に関心をもつ態度を養う。	学級	2
	「英語で話そう(Ⅱ)」 ・他己紹介	①	(知) 好きなものや得意なことを尋ねる表現を知ることができる。 (思) 学んだ表現を用いて、相手のことを知ったり、相手が伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学んだ表現を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	学級	2
	「英語を聞こう(Ⅰ)」 ・動画の視聴 ・歌のリスニング ・絵本の読み聞かせ	①	(知) 外国語の音声に親しむことができる。 (思) 日本と外国の文化、風習の違いについて考えることができる。 (学) 外国語の文化、風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。	学級	2.5
Ⅰ学期授業時数					6.5
2 学 期	「英語で話そう(Ⅲ)」 ・物事を尋ねる表現 「これは何？」	①	(知) 物事を尋ねる表現などについて知ることができる。 (思) 学んだ表現を用いて、相手のことを知ったり、相手が伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学んだ表現を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	学級	2
	「異文化理解」 ・ジェスチャー	①	(知) 外国のジェスチャーについて知ることができる。 (思) 相手に配慮したコミュニケーションの取り方について考えることができる。 (学) 外国語の文化、風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。	学級	2
	「英語を聞こう(Ⅱ)」 ・動画の視聴 ・歌のリスニング ・絵本の読み聞かせ	①	(知) 外国語の音声に親しむことができる。 (思) 日本と外国の文化、風習の違いについて考えることができる。 (学) 外国語の文化、風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。	学級	3.5
2学期授業時数					7.5
3 学 期	「英語で話そう(Ⅳ)」 ・人について尋ねる表現 「彼はだれ？」	①	(知) 人について尋ねる表現などについて知ることができる。 (思) 学んだ表現を用いて、相手のことを知ったり、相手が伝えたいことを知ったりすることができる。 (学) 学んだ表現を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	学級	2
	「英語を聞こう(Ⅲ)」 ・動画の視聴 ・歌のリスニング ・絵本の読み聞かせ	①	(知) 外国語の音声に親しむことができる。 (思) 日本と外国の文化、風習の違いについて考えることができる。 (学) 外国語の文化、風習を知り、主体的に外国語を学ぼうとする態度を養う。	学級	1.5
3学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第Ⅰ学年		特別活動				
単一Ⅱ類型						
目標	(知) 仲間と協働して様々な活動に取り組み、集団での適切な行動の仕方を身に付ける。					
	(思) 集団生活における課題を見いだし、解決するために話し合ったり、意思決定をしたりすることができる。					
	(学) 主体的に集団や社会に参画し、人間関係をより良く形成したり、自己実現を図ろうとしたりする態度を養う。					
期	単元名・指導内容		単元目標		授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「学級組織作り（Ⅰ）」 ・学級組織作り ・係分担 ・Ⅰ学期の目標決め		(知) 新しい仲間やⅠ学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	2
	「ホームルームでの取組（Ⅰ）」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施		(知) 学級における諸問題について、仲間と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	9
	「学部集会」 ・新入生歓迎会		(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見いだし、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		学級	1
	「Ⅰ学期の振り返りと夏休みの生活」		(知) 集団の中での自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見いだし、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		学級	1
Ⅰ学期授業時数						13
2 学 期	「学級組織作り（Ⅱ）」 ・学級組織作り ・係分担 ・2学期の目標決め		(知) 2学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	2
	「ホームルームでの取組（Ⅱ）」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施		(知) 学級における諸問題について、仲間と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	11
	「文化祭の取組」 ・文化祭活動や当日の計画		(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。		学級	1
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」		(知) 集団の中での自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見いだし、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		学級	1
2学期授業時数						15
3 学 期	「学級組織作り（Ⅲ）」 ・学級組織作り ・係分担 ・3学期の目標決め ・一年間の振り返り		(知) 3学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いで自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	2
	「生徒会選挙の取組」 ・立候補者演説 ・投票の仕方を知る。 ・投票		(知) 学校生活の充実や向上のために、生徒の総意によって生徒会の組織作りを行うという生徒会選挙の目的と投票の仕方について理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら、自分から判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的な学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。		学級	1
	「ホームルームでの取組（Ⅲ）」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施		(知) 学級における諸問題について、仲間と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いで自分の意見を表現したり、仲間の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	3
	「学部集会（Ⅱ）」 ・3年生を送る会		(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見いだし、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		学級	1
3学期授業時数						7
総授業時数						35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		自立活動			
目 標	(知) 自分の課題を改善し・克服し、自立し、社会参加をするための知識や技能を身に付けることができる。 (思) 自己評価や相互評価を行いながら自分の課題を見つめ、支援を求めたり、仲間と協力したりして課題を解決しようとすることができる。 (学) 卒業後の社会的自立の実現に向け、自分の良さや課題について振り返り、周囲の人と協働しながら改善したり努力したりする気持ちを養う。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。	個別の指導計画に基づく	類型 学級 個別	26	
				26	
2 学 期	6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。	個別の指導計画に基づく	類型 学級 個別	30	
2学期授業時数				30	
3 学 期	6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。	個別の指導計画に基づく	類型 学級 個別	14	
3学期授業時数				14	
総授業時数				70	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第Ⅰ学年 単一Ⅱ類型		総合的な探究の時間				
目 標	(知) 実生活と自己の関わりから課題を見付けたり、課題を解決したりするために必要な知識や技能を身に付ける。					
	(思) 課題を解決していくために必要な情報を集め、整理・分析したり、まとめたりして表現することができる。					
	(学) 課題の解決に向けて主体的・協働的に取り組み、より良い社会を実現しようとする態度を養う。					
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数		
Ⅰ 学 期	「校内について知ろう」 ・特別教室や校内でのルール	(知) 校内の施設とその役割について知ることができる。 (思) 校内の施設の利用の仕方を調べ、適切な活用方法を考え表現することができる。 (学) 学校について興味をもつことができる。	類型 学級	4		
	「学校周辺を知ろう」【校外学習】 ・事前学習 ・交通ルールやマナー ・まとめ	(知) 学校周辺の地図を見て歩道や信号などの場所を調べ、交通ルールについて知ることができる。 (思) 交通ルールや集団活動のマナーを考えながら、校外学習に出かけることができる。 (学) 校外学習に出掛けることを通して、公共の場でのマナーやルールを守る姿勢を養う。	学級	6		
	「平和について考えよう」 ・平和に向けた取組	(知) 「平和」の意味や生活の中にある「平和」について考えたり、平和都市広島で生活する人間として、どのような平和の発信ができるかについて知ったりすることができる。 (思) 情報機器を使用して自ら調べたり、情報を取捨選択したりしながら、自分の意見をまとめたり、発表したりすることができる。 (学) 課題解決に取り組み、周囲へ発信したり、仲間と一緒に活動したりすることを通して、仲間や社会とのより良い関係を作ろうとする態度を養う。	学級	3		
Ⅰ学期授業時数					13	
2 学 期	「広島について調べよう」【校外学習】 ・施設や観光地調べ ・交通ルールやマナー ・まとめ	(知) 広島の地図を読み取り、施設や観光スポットなどについて知ることができる。 (思) 地図で探したり、各種資料を調べたりしながら、広島の観光してみたい場所を考えたり、観光イメージをもったりすることができる。 (学) 観光ルートを作成することを通して、魅力ある広島を大切にしようとする自覚を養う。	類型 学級	8		
	「SDG'Sについて考えよう」 ・SDG'Sについて知る ・SDG'Sについて調べる ・物づくりや新聞づくり	(知) SDG'Sの意味や生活の中にある「SDG'S」について知ることができる。 (思) 身近な物から持続可能なリサイクル方法を調べたり、考えたりすることができる。 (学) 問題解決のために自分ができる事を見付け、行動を起こそうとする態度を養う。	学級	4		
	「国際理解学習」 ・外国の会話や挨拶について知る ・交流	(知) 日本と外国の言語や文化に慣れ親しむことができる。 (思) 体験的な活動を通して生活、習慣、行事等の違いについて考えを深めることができる。 (学) 海外に関する興味関心を養い、外国の表現で伝えようとする態度を養う。	類型 学級	3		
2学期授業時数					15	
3 学 期	「身近なICTの使い方について知ろう」 ・ネットワークの使い方 ・適切な使用を目指して	(知) 身近にあるネットワークが人や社会に及ぼすことについて知ることができる。 (思) ネットワークとの関わり方について考えたり発表したりすることができる。 (学) 正しいインターネットの使い方を知り、責任ある行動をしようとする態度を養う。	学級	4		
	「ユニバーサルデザインについて知ろう」 ・身近な標識やピクトグラム調べ ・標識の表す意味	(知) 社会生活に必要な標識やピクトグラムを知ることができる。 (思) 標識やピクトグラムについて調べ、それらの意味をまとめたり表現したりすることができる。 (学) 標識やピクトグラムについて知ること、社会生活に役立てようとする態度を養うことができる。	学級	3		
3学期授業時数					7	
総授業時数					35	